SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社　池田紙器工業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・社是・経営理念・社訓を明文化している。 ・毎朝朝礼で社是・経営理念・社訓を唱和し基本理念の共有化を行っている。 ・次年度の営業目標と人時生産性の目標数値を明確化している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・入社時研修で就業規則の遵守事項・社内ルールについて説明し、部門長は業務の中でルールを守るよう教育している。 ・就業規則等規程類は、最新の法令に対応するよう定期的に改定し、常時誰でも見やすい場所に備え付けている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・経営理念に得意先・仕入先との共存共栄を明記し、毎朝唱和して社員への浸透を図っている。 ・毎月の定例会議で仕入先情報の共有を行っている。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・組織体制を明確化する為、組織図を作成している。 ・全日本印刷工業組合連合会登録制度が定めるCSRワンスター認証を取得している。その中で8つの分野（コンプライアンス・環境・情報セキュリティ・品質・雇用と労働安全・財務と業績・社会貢献・情報開示）において会社の取り組みを定期的にチェックする仕組みを作っている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産に関する動画を見て勉強会を実施している。 ・知的財産権の事例や侵害情報をミーティングの場で共有している。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・機密管理規程に保護すべき個人情報とその利用・管理方法を定めている。 ・【予定】2021年10月までに個人情報保護に関する勉強会を行う。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		「お客様の満足、お取引先様の繁栄」を企業理念の中に掲げ、ステークホルダーの状況把握、連携強化のための訪問や連絡を行っている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・国の建築基準法の1.3倍の強度で社屋を設計している。 ・再調達価額を基に火災保険に加入し、水災・地震についても備えている。 ・年1回定期的に消防避難訓練を行っている。 ・非常時の水や食料を常備している。 ・【予定】2022年4月完成を目指し事業継続力強化計画を策定中である。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・後継者への事業継承を始めている。 ・事業継承セミナーに参加し後継者の育成・指導を行っている。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築している。 ・【予定】2021年7月までに公平性を重視した人事評価制度を策定する。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・産業医を選任し、2ヶ月に1回職場巡視とその報告を受け、改善にも取り組んでいる。 ・安全管理者・衛生管理者の選任と安全衛生委員会を設置し、月に1回巡視を行っている。 ・作業場の危険個所リストを作成し危険個所への対策を行っている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・2021年4月施行の「パートタイム・有期雇用労働法」の原則に従い、あらゆる待遇について不合理な差がないように対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・勤怠管理システム「クロノス」による就業管理を行っており、残業時間の1ヶ月上限が法定を超えないように働きかけている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・フォークリフト運転免許取得の費用全額負担を行っている。 ・くまもと産業支援財団主催「ひのくに道場」現場改善研修へ8回派遣している。 ・【予定】2021年7月までに職種・職位に応じた研修制度を作る予定である。 ・従業員が自発的にセミナーへの参加を申し出た場合は受講をすすめている。				4	5.5			8	9								

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　　事業者名：株式会社　池田紙器工業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
労働・人権	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・定期健康診断を実施し、二次検査対象者の受診・治療についても会社が積極的に関与している。 ・従業員に対してインフルエンザ予防接種の全額補助を行っている。			3					8								17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・育児や介護による休暇・労働時間の短縮に対応するため「育児・介護休業等に関する規程」を定め、社員が働き続けられる環境を整備している。 ・従業員からの働き方に関する相談に、所属長や総務部が対応するようにしている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・2020年4月よりテレワークへの環境整備として、デスクトップ型PCからノートPCに順次移行中である。 ・リモートワークによる業務効率化を図るため、zoom有料アカウントを契約している。 ・zoomの手順書を作成し、関係者への講習会を開催、社内でも積極的にzoomを使用している。 ・事務所・食堂・会議室では定期的な換気を行い、パーテーションを設置して感染予防を心がけている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・作業時間短縮・情報共有の為、営業支援ツール（SFA）【knowledgesuite】を導入している。 ・メルマガによる既存顧客への情報発信とオンライン営業を実施中である。 ・基幹システムに追加プログラムを開発し業務効率の向上を実施している。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社　池田紙器工業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・工場内で発生する廃棄物は適切に分別・保管し、指定業者に運搬・処理を依頼し、マニフェストで確認している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社屋の屋上スペースを利用し、太陽光発電システムを設置している。 ・空調監視制御装置「エレワイズ」を導入することで、エネルギー使用量を1割削減している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・会社内はほとんど電化している。 ・バッテリー式フォークリフトやハイブリッド車を購入している。 ・簡易計算シートを活用し、ガス・電気・ガソリン・軽油の年間CO_2排出量を把握している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・弊社で製造する製品の原材料は紙を主としている。（紙の原料となるセルロース（繊維）は天然由来の物質であり、土壌や海洋に流出したとしても分解されることから、環境や生物に対し影響の少ない素材）						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・廃棄物の分別に精力的に取り組んでおり、弊社から排出される古紙の85%は再生紙へと生まれ変わっている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・弊社敷地内に透水性舗装（舗装体内に雨水が浸透し、路盤層以下まで雨水を浸透させる）を施工している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・弊社で製造する製品の原材料に再生紙を使用するようにしている。 ・原材料として使用する紙についてFSC認証紙の利用を推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・「市電緑のじゅうたんサポーター」として熊本市市電の軌道内緑化事業を支援している。 ・会社の周囲に植樹し、緑の保全に努めている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・社屋の屋上スペースを利用し、太陽光発電システムを設置している。 ・空調監視制御装置「エレワイズ」を導入することで、エネルギー使用量を1割削減している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・原材料として使用する紙についてFSC認証紙を推進している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・ゴミの分別を徹底している。 ・全従業員にマイバックを配布し、レジ袋の使用抑制を図っている。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・営業車を順次ガソリン車からハイブリッド車へ移行（3/6台移行済み）している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・社屋の屋上スペースを利用し、太陽光発電システムを設置している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社　池田紙器工業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・品質管理課を設け、顧客からの品質向上に対する要求を製造へ伝達し→製造の品質改善→手順書の作成→作業者への指導を行い品質向上に努めている。また、そのために毎日の製造部門長ミーティングで、商品毎の製造上の注意点を説明している。 ・ダンボール製品などは、手を切らないようにウェーブ刃の利用をすすめている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・UDフォント【MORISAWA PASSPORT】を契約し印刷物を見やすいフォントで提供している。 ・資源ゴミの分別が行い易い【解体しやすい箱（パッケージ）】への設計を強化中である。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・感染症拡大対策の為、オリジナルの飛沫防止パーテーションを製造し、 多くの人が購入し易いよう低価格での販売を行っている。 ・多種多様な消費者のニーズに対応する為、多品種少量生産製造ラインを強化している。 ・包装材料の脱プラスティック化に貢献する紙製品の製造を推進している。 ・【予定】2021年8月を目途に抗菌・抗ウイルス効果のある商品の開発をすすめている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地元（富合町）住民の各種行事に協賛している。 ・熊本交響楽団後援会 ・ロアッソ熊本サポーター ・熊本暮らし人まつり みずあかり協賛	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・非常時の水や食料を常備している。 ・【予定】2022年4月完成を目指し事業継続力強化計画を策定中である。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・ホームページで自社のSDGsへの取り組みを紹介している。 ・紙とSDGsの関連性についてのセミナーを受講している。 ・従業員に対してSDGsの普及・啓発の集会を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生インターンシップの受け入れを毎年行っている.				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。